

水俣市



高岡 利治 市長

水俣市は、不知火海を望む美しい湯の児海岸や、深緑に囲まれた歴史情緒溢れる温泉街があるまちで、環境モデル都市として様々な環境施策に取り組んでまいりました。

現在は環境への取り組み、そして、強い経済と豊かな社会が調和し、好循環を生み出し真に住み続けられるまち「SDGs未来都市みなまた」の実現に向け、持続可能な地域社会づくりに取り組んでいますので、皆様のご協力、ご支援をお願いいたします。

寄付御礼

- ・贈呈式開催(首長出席、寄付額100万円以上)
- ・感謝状贈呈(寄付額10万円以上)
- ・地公体広報紙掲載
- ・HP掲載
- ・視察受入
- ・功労者表彰推薦
- ・紺綬褒章推薦
- ・その他

人口	面積	産業構造	交通アクセス
総人口……23,557人 男……10,913人 女……12,644人 世帯数……10,123世帯	総面積……163.29km ² 農用地……8.69km ² (5.3%) 森林……121.29km ² (74.2%) 宅地……6.03km ² (3.7%)	第1次産業……958(1.1%) 第2次産業……24,689(29.4%) 第3次産業……58,428(69.5%) <small>生産総額:百万円</small>	■水俣市役所まで 南九州西回り自動車道 水俣ICから 約1km 肥薩おれんじ鉄道 水俣駅……約1.5km JR 新水俣駅から……約2km
人口構成比	教育機関	高等教育機関	
15歳未満……11.4% 15～64歳……47.7% 65歳以上……40.9%	小学校……7校 中学校……4校 高等学校・高専……1校 大学・専門学校他……— 半導体人材育成施設 1校	熊本県立水俣高校 (普通/商業/機械/ 電気建築システム(電気コース) 電気建築システム(建築コース))	



※データは令和4年7月発行、熊本県市町村要覧をもとに作成しております。

水俣市まち・ひと・しごと創生推進計画

SDGs未来都市みなまたの実現

(SDGs)関連するゴール



1 基本目標 強い産業基盤をつくり、安心して働ける水俣をつくる

地域の稼ぐ力を高め、やりがいを感じることでできる魅力的なしごと・雇用機会を創出し、誰もが安心して働けるようにします。

2 基本目標 人材を育て、水俣への新しいひとの流れをつくる

地域を支えることができる人材の育成に向けて、高等学校の段階で地域を知り、親しむ機会を創出します。

3 基本目標 水俣で結婚・出産・子育ての希望をかなえる

若い世代が結婚、出産、子育て等に対し安心感を持って、希望が持てるようなまちをつくりまします。

4 基本目標 安心して暮らせる魅力的な水俣をつくる

子供から高齢者まで全ての世代が幸せを感じられるまち、市民が誇りを持ち、安全で安心して暮らせる魅力的なまちづくりを進めます。

水俣市

新しい民間企業の技術・ノウハウを積極的に活用したい政策課題・取り組み

カテゴリ 9

まちづくり

1 課題

脱炭素社会の実現

「環境モデル都市」としてこれまで取り組んできた省エネ・省資源活動に加え、公共施設等への太陽光発電設備の設置をはじめとした再生可能エネルギーの導入、公共交通の利用を促進し、令和32年までにカーボンニュートラルを目指します。

企業様へ

本取り組みにつきまして、企業様の様々なアイデアやノウハウ等をお聞かせください。



コミュニティバス「みなくるバス」

カテゴリ 11

DX

2 課題

デジタル技術を活用した自治体業務の効率化

デジタル技術の進展、新型コロナウイルス感染症による生活様式や価値観の変化等により、自治体業務も多様化しています。職員の業務効率化をはじめ、「書かない窓口」等の取り組みを進め、市民の負担軽減を目指します。

企業様へ

本取り組みにつきまして、企業様の様々なアイデアやノウハウ等をお聞かせください。



市役所窓口業務の様子

カテゴリ 7

高齢者福祉・介護

3 課題

医療・介護・福祉のICT化

ICTを活用した遠隔診療の実証事業に取り組み、高齢者などの介助が必要な方や介助を行う方双方の負担軽減が図られるなどの効果を確認しました。この結果を踏まえ、今後は介護・福祉の分野においてもサービスの提供を目指します。

企業様へ

本取り組みにつきまして、企業様の様々なアイデアやノウハウ等をお聞かせください。



水俣市立総合医療センター

カテゴリ 2

過疎対策・定住移住

4 課題

若者・子育て世代の「みなまた暮らし」の推進

本市最大の課題の1つである人口減少に歯止めをかけるため、転入者向けの支援制度の創設や移住イベント等での情報発信に取り組んでいます。今後も若者・子育て世代の転入者増加に向けた取り組みを強化していきます。

企業様へ

本取り組みにつきまして、企業様の様々なアイデアやノウハウ等をお聞かせください。



移住定住お試しハウス

重点プロジェクト

スポーツを核にした地域づくり
～活力生まれる水俣～

〈SDGs〉関連するゴール



総事業費 575,853千円 寄附目標額 -

数値目標 ●市内スポーツ大会・合宿等受け入れ件数 …(2021年度) 22件→(2026年度) 30件
●エコパーク水俣利用者数 ……(2019年度) 269,201人→(2026年度) 296,100人

背景・現状の課題

水俣市ではこれまで、スポーツを通じた人材育成及び交流人口の拡大として、エコパーク水俣や湯の児海水浴場等のスポーツ・観光資源を最大限に活用し、スポーツイベント等を開催してきました。また、エコパーク水俣に隣接する「道の駅みなまた」の建て替え、「木のおもちゃ館きらら」の建設、バラ園の整備などにも取り組んできました。

スポーツを「する」「観る」「支える」など、子どもたちに多様な機会を創出するとともに、スポーツ大会や合宿を誘致するため、大会の会場となる施設の充実を図る必要があります。また、観光PRや季節に応じた各種イベントの実施により、交流人口の増加を図る必要があります。



第9回全日本SUP選手権大会レース

エコパーク水俣、総合体育館や武道館、湯の児海水浴場といったスポーツ・観光資源を活用することで、大規模なスポーツ大会や合宿を誘致し、更なる人の流れを生み出します。

また、様々なスポーツ大会を誘致することで、水俣の子どもたちが自分の目でレベルの高いスポーツを見る喜びとともに、子どもたちの向上心を育み、親子で夢を描けるような環境づくりに取り組み、「活力ある水俣」を目指します。

事業の目的・内容

1. スポーツを通じた人材育成
スポーツコミッション推進、スポーツ施設整備、ニュースポーツ推進、地域スポーツ交流活性化等
2. 観光振興による交流人口の拡大
地域商工業振興、道の駅の魅力維持向上、観光プロモーション強化



アルティメットトーナメント

寄附の具体的なメリット

- 「SDGs未来都市」である水俣市との連携によるPR効果
- 水俣市の地域資源を活用した、スポーツや観光振興等による新規事業の展開

寄附申出書の事業名選択時は「新しいひとの流れをつくる事業」を選択してください。

重点プロジェクト

持続可能な地域づくりに
資する人材育成
～世界へつながる水俣～

〈SDGs〉関連するゴール



総事業費 20,131千円 寄附目標額 -

数値目標 ●次世代育成事業参加者数 ……(2021年度) 825人→(2026年度) 1,000人
●国内外からの研修等受入件数 ……(2021年度) 10件→(2026年度) 15件

背景・現状の課題

水俣市ではこれまで、知の連携拠点「水俣環境アカデミア」を中心に、国内外の大学等からの視察・研修を受け入れ、「SDGs未来都市みなまた」としての取組を発信し、水俣の経験を活かした持続可能な地域社会づくりに資する人材育成に取り組んできました。また、市民や地元唯一の水俣高校生を対象に、環境等における最先端な知識を学ぶ場を創出してきました。

世界の環境問題解決に向け活躍できる人材を育成するために、水俣でも子供たちが先端的な知識を学ぶことができる機会や国際交流の機会を創出する必要があります。

また、持続可能な地域社会づくりに資するため、継続して水俣の経験や取組を国内外へ発信する必要があります。



さくらサイエンスプラン水俣研修

知の連携拠点「水俣環境アカデミア」を中心に、水俣の小中学校や水俣高校の特色ある活動を支援するとともに、海外からの研修受入時に交流の機会を創設し、国際コミュニケーション能力の向上やグローバルで先端的な知識に触れることができる機会を創出し、地域課題の解決や国際社会で活躍できる人材を育成します。

また、国内外の大学や研究機関、国連関係団体等の視察や国際会議を受け入れ、「SDGs未来都市みなまた」の取り組みを積極的に発信し、「世界へつながる水俣」を目指します。

事業の目的・内容

1. 環境問題解決に資する人材の育成
小中高生を対象とした様々な学びの場(高大連携未来塾、木育ワークショップ、研究活動プログラム等)の提供、国際交流機会の創出等
2. 国際社会への貢献
国内外の大学・研究機関・国連機関からの研修・国際会議等の受入れ、アジア地域の大学を対象にした研修実施等



高大連携未来塾(日越大学×水俣高校)

寄附の具体的なメリット

- 「SDGs未来都市」である水俣市との連携によるPR効果
- 水俣市と連携し世界で活躍する人材育成に貢献

寄附申出書の事業名選択時は「新しいひとの流れをつくる事業」を選択してください。

●その他の寄附事業に関しましては、最寄りの肥後銀行までお問い合わせください。